JOYO BANK NEWS LETTER

2022年6月20日

茨城県立古河第一高等学校への金融教育講座の実施について

常陽銀行(頭取 秋野 哲也)は、高等学校新学習指導要領における成年年齢引下げを踏まえた金融教育の一環として、茨城県立古河第一高等学校(校長馬場 光夫)において金融教育講座を実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

古河第一高等学校は、「金融教育研究校*(2021年4月~2023年3月)」として金融教育の要素を取り入れた授業を行っています。当行は、高等学校新学習指導要領に対応した金融教育の充実をご支援すべく、100才までの人生設計や資産形成・管理などについて、講義やシミュレーションを交えたグループワーク等を実施しました。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値 創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に 向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの 課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けて まいります。

* 研究校制度は、金融広報中央委員会および茨城県金融広報委員会が、文部科学省や 茨城県教育委員会と協力しながら昭和 49 年より進めている制度です。「金融教育 研究校」は、主に高等学校・中学校において、金融・経済に関する正しい知識の 習得に力点をおいています(出典:茨城県金融広報委員会ホームページ)。

記

【講座の実施内容】

参 加 者	茨城県立古河第一高等学校 2年生39名(会計ビジネス科)
開催場所	茨 城 県 立 古 河 第 一 高 等 学 校
日 時	2022年6月15日(水)10:40~11:30、11:40~12:30
実施内容	<マネープランを考えてみよう>
	・ライフイベントとお金
	・ライフプランシミュレーション
	・シミュレーションの改善策 など
	・金融商品の仕組みと特徴
	<成年年齢引下げの注意点>
	・成年になったらできること、できないこと
	・契約のトラブル
	・多重債務 など





<当日の様子>





以上